

特集

# 私と 土木との出会い

● 特集をするにあたって

この3月に学窓を巣立ち社会人として一人歩きをはじめ土木技術者の卵は約5500人(学卒)といわれております。この数は多いといえば多いともいえませんが、少ない、といえばそうともとれます。桜の花が咲く頃、希望を胸にして社会人の仲間入りする彼等、このうちどのくらいの若人が所期の人生目標を全うできるのか、また、どのような構造物をこの世に送り出すのか、そして、その頃まで“土木技術者”という職能が存在し得るのか。

この3月から4月にかけて、転勤というサラリーマン特有の生活譜が動くみられます。これもある意味では大きな人生模様、転勤を重ねてその人の歴史がまた厚くなってゆきます。

この3月、定年を迎えて人生の一つの区切を去る方々もおられます。本当に長い間ご苦労さんでした、と申し上げたい。

若い人々には先輩の歩いた道程を  
中堅の方々には、来し方、これから歩みゆく道を  
年輩の方々には、ほほえましい後輩の鼓動を

そして、土木以外の方々には巨大な建設力を備えてきた土木人の人となりを知っていただくとう今回の特集を企画いたしました。土木学会誌といたしましては多分初めての企画かと思いますが、明治から昭和にかけての各世代ごとに執筆者を定め、お願いしてそのひととなりを草していただきました。

事業は人なり、と申します。技術最優先の時代からまろやかな融和の時代へ移るさきがけとして、今回の特集をお読み下さい。  
会誌編集委員会

● ここに掲載いたしました年表は、今回の特集執筆各位の出生時の世相がどういうものであったかを知っていただくためにとりまとめたもので、これ自体で土木略史・世相史を収めようとするものではありません。よって、大切な項目がおちていたり、相互の関連がなかったりしますが、特集の目的にめんじてご寛容賜りたく存じます。なお、\*印欄の番号は、特集中の各論文左上の番号と共通で、当該論文の執筆者の出生のときを示しております。

年 (西暦)	代 (和暦)	*	土
1868	明 1		内国事務総督設置、長崎にくろがね橋架設、
1869	明 2		観音崎灯台竣工、民部省に土木司設置、横浜
1872	明 5		新橋一横浜間鉄道開業、
1873	明 6		デレーケ来日、銀座煉瓦街ほぼ完成、内務省
1877	明 10		内務省に土木局設置、東京大学土木工学科発
1879	明 12		工学部創立、
1880	明 13		鹿島組創業、逢坂山隧道竣工、
1881	明 14		
1885	明 18		鉄道局設置、
1889	明 22	15	鉄道千里祝賀会、函館上水道竣工、
1890	明 23	16	足尾銅山鉱毒が問題化、琵琶湖疎水竣工、大
1894	明 27		
1896	明 29		河川法公布、横浜港修築工事竣工、全国で洪
1897	明 30		京都大学土木工学科発足、
1902	明 35	1	
1903	明 36	13	琵琶湖疎水に鉄筋コンクリート橋架設、東京
1904	明 37	12	
1906	明 39	15	鉄道国有法公布、満鉄設立、
1910	明 43		淀川の毛馬閘門・洗堰竣工、
1914	大 3		生駒山隧道竣工、土木学会創立、東京駅開業、
1915	大 4		(資)清水組設立、
1919	大 8		都市計画法公布、道路法公布
1920	大 9	8	鉄道省設置、日本工人倶楽部設立、
1923	大 12	7	関東大地震、
1925	大 14	9	土木業協会設立、震災予防評議会設置、
1926	昭 1		5万分の1地形図完成、隅田川に永代橋架設、
1927	昭 2		大河津分水竣工、村山貯水池完成、浅草一上野
1928	昭 3	4, 6	隅田川の六大橋完成、
1931	昭 6	5	清水隧道竣工、
1932	昭 7		(社)水道協会発足、時局匡救事業はじまる、
1933	昭 8		
1934	昭 9		室戸台風、丹那隧道竣工、
1937	昭 12		
1940	昭 15		東京に勝勝橋架設、
1941	昭 16	2	帝都高速度交通営団設立、水豊発電所発電開
1943	昭 18	1	水豊ダム竣工、秦緬鉄道開通、運輸通信省設
1945	昭 20		東京空襲、運輸省設置、枕崎台風、
1946	昭 21	3	公共事業処理要綱決定、南海道地震、全建結
1948	昭 23		全国建設業協会設立、福井地震、建設省設置、
1949	昭 24		日本国有鉄道発足、三鷹事件、松川事件、キ
1951	昭 26		桜木町事件、早稲田大学に土木工科大学院設
1955	昭 30		上権業ダム竣工、須田貝ダム竣工、長崎県で
1957	昭 32		諫早水害、小河内ダム竣工、
1958	昭 33		関門国道トンネル開通、狩野川台風、水質保
1959	昭 34		首都高速度道路公団設立、伊勢湾台風、
1960	昭 35		バルーチャン発電所竣工、チリ地震津波、田
1962	昭 37		水資源開発公団・阪神高速道路公団設立、三
1963	昭 38		黒部ダム竣工、新産・工特指定、鶴見事故、
1964	昭 39		鉄建公団設立、新潟地震、新河川法公布、東
1965	昭 40		名神高速道路全通、東海発電所送電開始、
1967	昭 42		新清水隧道開通、四日市公害訴訟はじまる、
1969	昭 44		東名高速道路全通、鹿島港開港式、
1970	昭 45		横浜港本牧埠頭竣工、
1971	昭 46		利根川河口堰竣工、イタイイタイ病・水俣病
1972	昭 47		新幹線新大阪一岡山間開業、

木	一 般	国 外
<p>に吉田橋架設、設置、足、</p> <p>谷川で水力発電開始、水、</p> <p>で路面電車開業、</p> <p>間地下鉄開業、</p> <p>始、置、</p> <p>成、</p> <p>アイオン台風、</p> <p>ティ台風、生コン販売開始、</p> <p>置、9電力(株)発足、ルース台風、</p> <p>西海橋開通、</p> <p>全法・排水規制法公布、</p> <p>小倉ダム竣工、</p> <p>河島事故、奥只見ダム竣工、若戸大橋開通、</p> <p>海道新幹線開業、</p> <p>で患者が勝訴、青函トンネル起工、</p>	<p>王政復古の大号令、築地ホテル館竣工、</p> <p>戊辰戦争おわる、版籍奉還、</p> <p>学制頒布、三井組ハウス竣工、</p> <p>西南戦争、</p> <p>大日本帝国憲法公布、</p> <p>教育勅語発布、</p> <p>日清戦争はじまる、</p> <p>日英同盟調印、</p> <p>日露戦争はじまる、</p> <p>韓国併合、</p> <p>第一次世界大戦はじまる、</p> <p>戦後恐慌はじまる、</p> <p>丸ビル竣工、</p> <p>治安維持法公布、</p> <p>最初の普通選挙、張作霖爆死、</p> <p>満州事変はじまる、</p> <p>満州国建国宣言、5.15事件、</p> <p>日本が国際連盟脱退、</p> <p>日中戦争はじまる、</p> <p>日独伊三国同盟調印、</p> <p>ハワイ真珠湾攻撃、</p> <p>広島、長崎に原爆投下、第二次世界大戦おわる、</p> <p>日本国憲法公布、</p> <p>シャープ勧告、</p> <p>対日平和条約・日米安保条約調印、</p> <p>神武景気はじまる、</p> <p>安保闘争、</p> <p>オリンピック東京大会、</p> <p>国債発行、</p> <p>東大安田講堂封鎖解除、</p> <p>大阪で万国博覧会、</p> <p>全日空機事故、</p> <p>沖縄返還、</p>	<p>スエズ運河開通、</p> <p>エジソンの電球発明、ドイツで電気機関車試運転、</p> <p>パナマ運河着工、アメリカで世界最初の水力発電所、</p> <p>ベンツがガソリン自動車を発明、</p> <p>第二インターナショナル成立、</p> <p>ビスマルク引退、</p> <p>シベリア鉄道開通、</p> <p>ロンドンで塩毒消毒開始、</p> <p>パナマ運河開通、</p> <p>ロミンテルン創立大会、</p> <p>国際連盟発足、</p> <p>ヒトラーが独首相に就任、</p> <p>国際連合成立、</p> <p>中華人民共和国成立、</p> <p>朝鮮休戦会談はじまる、</p> <p>人工衛星スプートニク1号打上げ、</p> <p>キューバ革命、フランスでマルバッセダム崩壊、</p> <p>キューバ危機、</p> <p>米軍がベトナムで北爆開始、</p> <p>米国の宇宙船が月に到着、</p> <p>中国が国連加盟、サンフェルナンド地震、</p>